

予算決算

委員会
ニュース

会計当初予算
会計補正予算

特別
特別

平成30年度当初予算を
議員全員で審議

◎「総務部所管」

問 第5次松前町総合計画策定に向けて今後の予定は。

答 総合計画の策定は2年間を予定している。第4次総合計画の検証を行い、内部でできる資料は職員が作成し、素案を作り、平成31年度に審議会を立ち上げたい。委員と審議を実施し、よりよい計画となるよう努める。また、委託業者の選定については、プロポーザル方式での実施を予定している。

問 防災行政無線については。

答 「聞こえない」という意見が多いことから、今回、防災行政無線の内容を携帯やスマートフォン等で見えるための多重化対応を進める経費を計上した。

意見 各家庭で気軽に使える防災ラジオの導入について提案した。

問 防災整備対策として、浸水地域の消防団に小型ボートを配備しては。

答 現在、船外機付きの小型ボートは消防署に1つ配備している。状況を踏まえ、今後、検討する。



救命胴衣と小型ボート

問 ホッケー交流事業の事業費増の理由は。

答 昨年は、2泊3日、6試合だったが、今年は、3泊4日、8試合に拡大し、高校生の他、町内ホッケークラブの

子ども達も出場する。

問 ホッケー場の日除け対策は。

答 選手が試合中快適に過ごせるよう検討する。

問 地方交付税が5100万円の減となっており、その理由として地方消費税交付金が増加したためというが、なぜか。

答 地方交付税の算定額は、町の収入額など、その自治体ごとの財政力を判断して決定している。松前町の場合、標準財政規模が60億余りとなっておりそれに応じて算出される。

問 今回、地方消費税の算出方法が変更され、地方に有利な算出方法となり歳入金額が増加したため、その分地方交付税の金額が減少となった。財政調整基金の残高は。

答 平成28年度末で約7億9000万円であったが、現時点での平成29年度末の見込残高は、6億9000万円となっている。

◎「産業建設部所管」

問 工場等設置奨励事業は。地域産業の振興と雇用機会の増大を図るため、条例に基づいた対象企業への奨励金の交付は、平成29年から始まり、平成30年も含め5年間交付される。

意見 奨励費金の適用を、町内の中小企業に対しても適用してもらいたい。

問 幹線町道整備事業の国庫補助金は。

答 昨年度の補助率は最終的には16%であったが、今年度の国庫補助金額は、予算計上した事業費に対し、一般的な補助率55%をかけて見込んだものである。

4月に国から補助金の内示があるので、採択率の目安を立てて事業を推進する。

問 町道西古泉筒井線の必要な道路用地購入は、あと3筆を残すのみで、今回計上している。2200万円でする見込みである。

◎「教育委員会所管」

問 松前中学校 実施設計の委託料は。

答 子どもや先生等のアンケートに基づき、新校舎プランを作成。それを基にまちづくり課で設計委託料を積算した。防災面は、現在の場所でも、避難所としての機能が担保できるよう、実施設計までに、議会の意見なども取り入れ、更に内容を詰めていく。一般競争入札の実施予定だが、多くの経験を持つ業者が入札に参加できるように、条件を検討する。



期待される松前中学校（新校舎プラン）